

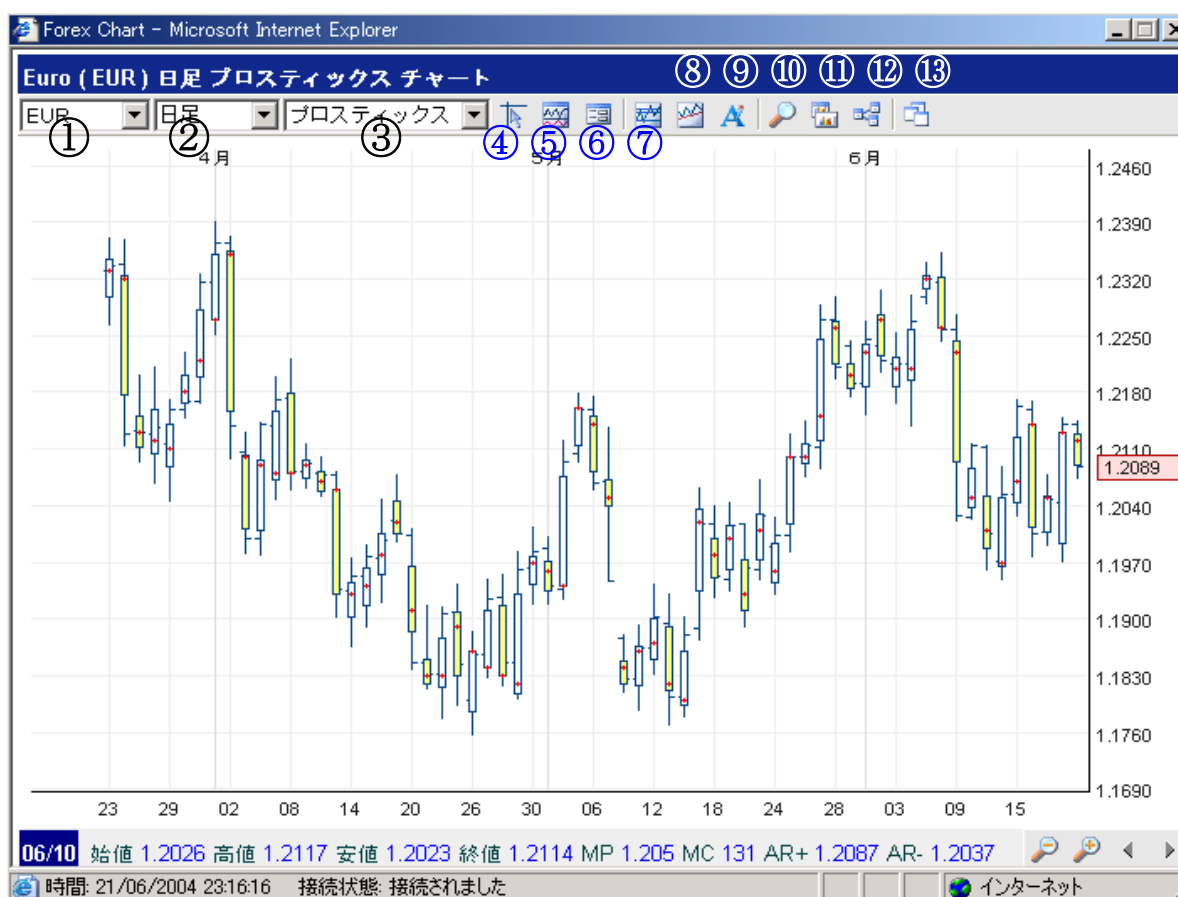
ProChart(プロ・チャート)クイックガイド

- Version04-06

ライブメンバーの皆様だけに公開致しております『プロ・チャート』、主要な違いは一目均衡表を分析ツールに加え、本邦初公開の**プロ平均足**をチャートタイプに追加しました。取引画面とは別接続にてお送りすることでユーザーへの利便性や安定性の向上が期待できます。早速、基本操作をマスターしていただき、今後の相場分析に最大限ご活用ください。

『プロ・チャート』呼出し方法

ログインページ <http://www.fortune-capital.co.jp/JP/Prochart.html> から専用ID/PWを大文字・小文字等に注意して打ち込み、**Login**ボタンをクリック致しますとプロチャートのマスター画面<写真1>が現れます。ユーロドル、日足、プロスティックスチャートが初期設定されています。目的のものをご覧いただくにはそれぞれを選択しなおしてください。例えば**プロ平均足**は③で、**一目均衡表**は⑤で選択するようになっています。



<写真1>マスター画面の大きさは固定です。柔軟な画面が必要な場合は⑬をご参照ください。

(注意)

- * Java2RE のソフトが予め入っていない場合、ログイン後の過程でソフトをインストールするように案内が現れます。指示に従ってインストールします。
- * J2RE のインストールにはハードディスクに 130Mb 以上の空容量が必要です。

各種機能説明

① 表示通貨ペア…現在 19 通貨ペアの表示が可能

弊社での取引が可能で通貨以外の表示については随時変更が予定されています。

表示通貨種類：

《フォーチュン社取扱い通貨》EUR (ユーロ・ドル)、JPY (ドル・円)、GBP (ポンド・ドル)、CHF (ドル・スイス)、CAD (ドル・カナダ)、AUD (豪ドル・ドル)、EURAUD (ユーロ・豪ドル)、EURCHF (ユーロ・スイス)、EURGBP (ユーロ・ポンド)、EURJPY (ユーロ・円)、GBPCHF (ポンド・スイス)、GBPJPY (ポンド円)、AUDJPY (豪ドル円)、CHFJPY (スイス円) 全 14 種類

《フォーチュン社取扱い外通貨》NZD (ニュージーランド・ドル)、HKD (ドル・香港)、TWD (ドル・台湾)、XAG (ドル・シルバー)、XAU (ドル・ゴールド)、CNY (未公開につきクリックしないでください、フリーズする場合があります)

② チャート足…1 分足から月足まで 11 種類のチャート足を選択可能

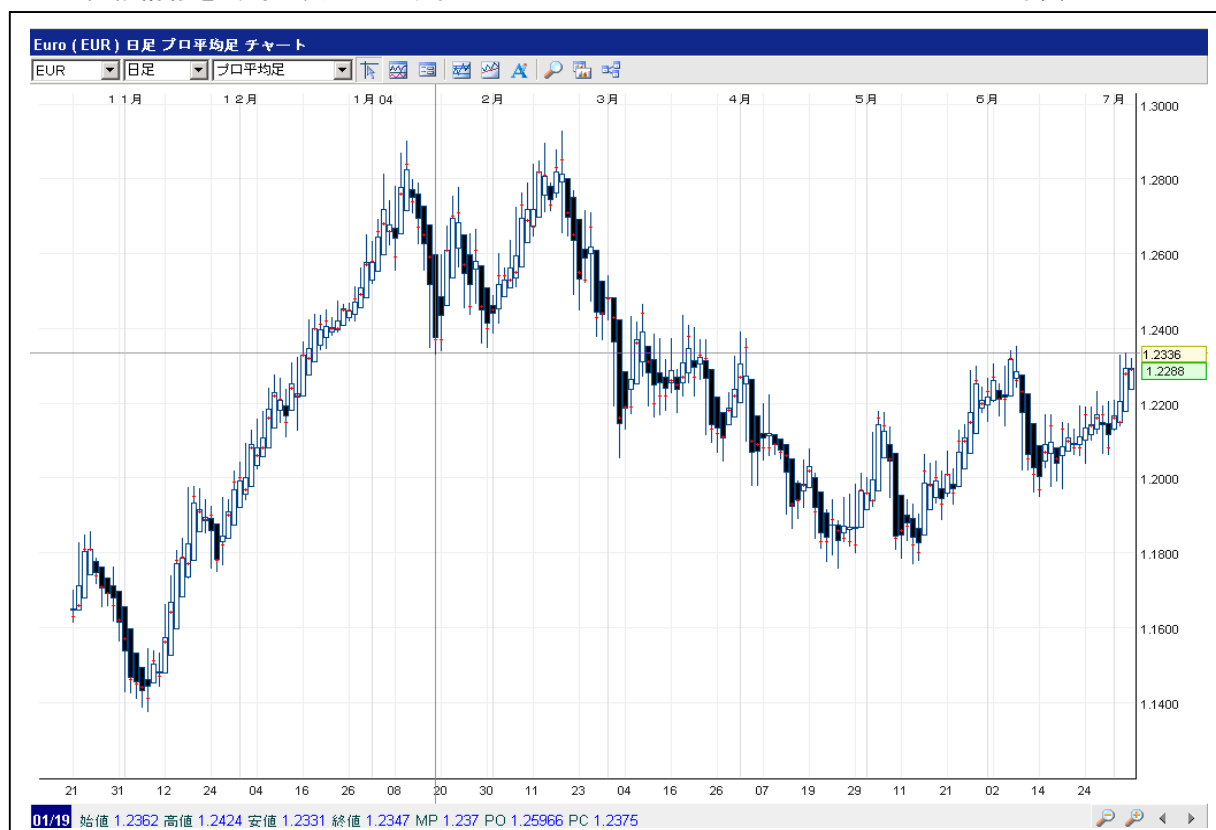
1、5、10、15、30、60 分足、2、4 時間足、日足、週足、月足

③ チャート種類…本邦初公開のプロ平均足から人気のローソク足など全 7 種類のチャート選択ボックスに表示されている上から順に プロスティックス、ローソク、バー、ライン、バーとモダル、モダルライン、プロ平均足。プロ平均足の説明は[サンプル画像](#)でご確認ください。

④ バリユーカーソル (該当ボタンをクリックして使用、元に戻すには再度クリック)

チャート分布上の任意の場所における水平・垂直線を表示して、該当する日/時/分のあらゆる価格情報を瞬時に表示します。

〈写真 2〉



⑤ **テクニカル分析**（該当ボタンをクリックして、各エリアから表示したいものをクリック、表示を止める場合は同じ手順をもう一度行います。各詳細説明は既存のユーザーガイドを参照）**新機能の一目均衡表分析**はこちらで選択します。ボリンジャーバンド、RSI など好みのツールをチャート上、またはチャートに平行表示します。

《分析ツール》チャートに重ねて表示、同時表示は2種類まで

単純移動平均線、指数移動平均線、ボリンジャーバンド、パラボリック、一目均衡表

* 一目均衡表に関する詳細説明は以下よりどうぞ。 [第一部](#) [第二部](#)



〈写真3〉ドル円日足のローソクチャートに一目均衡表を同時に表示

《分析補助ツール》別枠に表示、同時表示は3種類まで

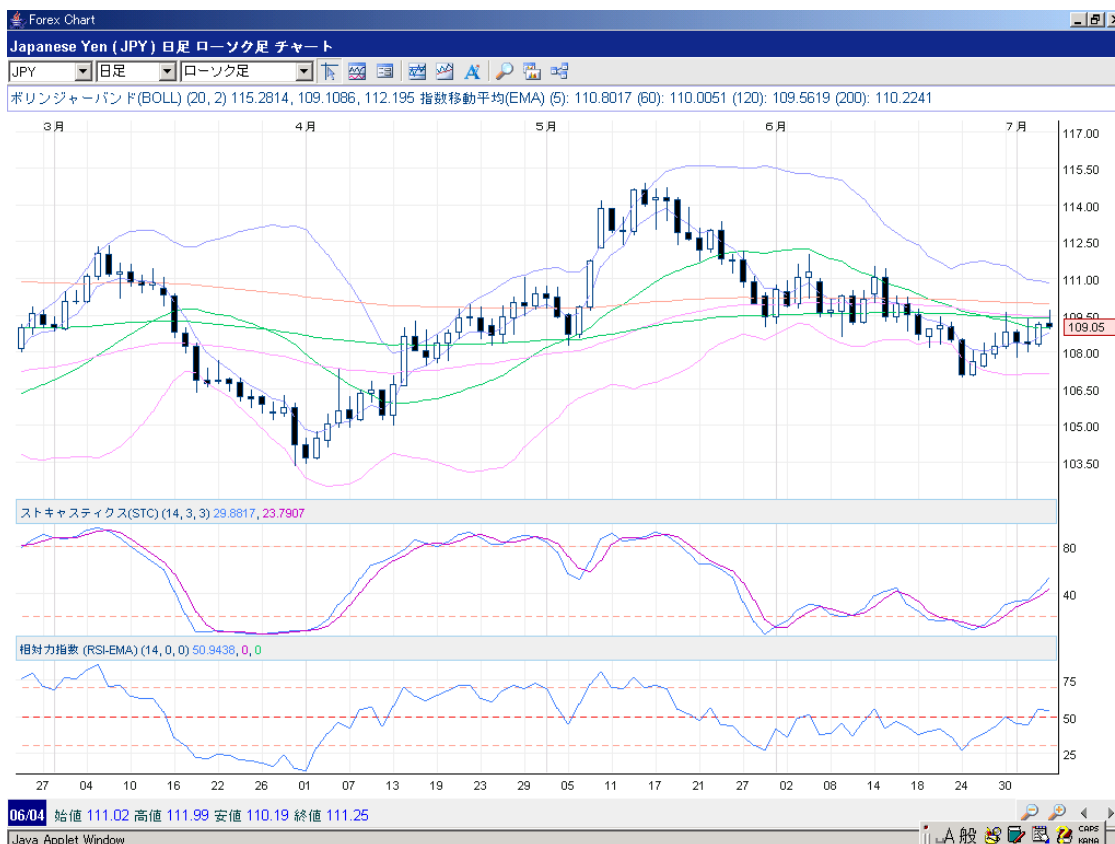
単純RSI、指数RSI、ストキャスティックス、モメンタム、MACD、モダルカウント、ディレクショナル・ムーブメント・インデックス、ウィリアムズ%R、価格変化レシオ、ボラティリティ

《計算採用値》

取引値で計算→従来通り各時間の最終値で各表示を計算（初期設定）

MPで計算→各計算にモダルポイント（MP）を使用（日足以上で選択可）

各機能表示参考例



〈写真 4〉 日足のローソク足チャートに分析ツールとしてボリンジャーバンド、移動平均線補助ツールとしてストキャスティック、RSI を全て同時に表示させたもの

⑥ 採用数値 (該当ボタンをクリックすると入力ボックスが現れます)

指数移動平均(EMA) (5): 108.7752 (60): 109.4413 (120): 109.3818 (200): 109.9821



各種分析ツールの採用数値 (パラメーター) を変えてオリジナルな設定にして表示する場合に、こちらの入力ボックスで記入、変更をします。最後に必ず「適用」をクリックして確定します。

入力ボックスが現れない場合は画面下のタスクバーにある Java 「選択」 アイコンをクリックしてください。

〈写真 5〉

⑦ フィボナッチ分析（該当ボタンをクリックして、RかPを選択します。利用詳細説明は既存のユーザーガイドを参照）



<写真 6>

リトレースメント (R) とプロジェクション (P) の分析が可能です。始点をクリックするだけで計算を開始、マウスの動きを追って自動計算します。終点をクリックして計算を固定します。

一度固定されたフィボナッチ水準はデータとして把握される為、以後チャート画面の時間軸を圧縮や拡大しても割合に合わせて適正な水準を表示し続けます。

⑧ **トレンドライン[傾向線]**（該当ボタンをクリックして傾向線を引くか、平行線を引くかを選択します）

チャートの分布上に傾向線を自在に書き込むことができ、価格軸との交点が自動表示されます。平行線を選択すれば、引いた傾向線の平行線を自動的に呼出し任意の位置に固定できますのでトレンドチャンネルを分析するのに非常に便利です。記入済みのラインはデータとして把握されるので、チャートを拡大や縮小、左右に進ませても画面に合わせてラインの傾きや存在位置をキープします。



<写真 7-a>

上の写真 7-a は時間軸を圧縮したチャート上に幾つかのトレンドラインを引いてみたものです。このまま時間軸を拡大したものが下の写真 7-b ですが、例えば写真 7-a の左端で最上部にあるトレンドラインは下の写真 7-b でも正しく表現されています。つまり時間的に少し古いピーク水準でも簡単に現在まで延長線を引くことができ、現在の相場に影響を与えていないかどうか、一目瞭然として判別が可能です。

<写真 7-b>



⑨ テキスト記入

チャートの分布上に文字を打ち込むことが可能です。チャートを使って相場分析を職業とされている方にとっては、非常にスマートなツールです。該当ボタンをクリックして機能をオンさせ、書き込みをしたい部位をクリックします。テキストボックスが現れ文字を打ち込み Enter キーで確定します。該当ボタンをもう一度クリックして機能をオフさせるまでは何度も場所を変えて記入ができます。

⑩ 拡大機能

マウスで囲んだ領域を拡大表示します。マクロからマイクロへの移動が瞬時にできます。該当ボタンをクリックして機能をオンさせ、拡大したいエリアの一角をクリックして固定します。マウスをずらしてエリアを網羅した時点でもう一度クリックして確定すれば、瞬時に指定エリアが拡大表示されます。

⑪ GIF 化機能 (該当ボタンをクリックした時点でファイル化開始、保存を希望しなければできたファイルを削除して対応します)

表示しているチャートの状態をそのまま GIF ファイル化して保存できます。⑧と併せてご使用いただければ、非常に高度な相場解説書などがスマート且つ簡単に作成できます。ご自身の予想履歴をファイルにして日記のように保存され、その変遷をたどってみては如何でしょうか。

⑫ 同期（該当ボタンをクリックして機能をオン・オフさせます）

複数のチャート画面上で、ある通貨を別々の時間足で表示させている場合、この機能を使って全ての表示通貨ペアを瞬時に変更させることが可能です。

例えばドル円を1時間足（画面A）、4時間足（画面B）、日足（画面C）の3画面で表示させていた時、全ての画面の同期機能をオンさせておけば、どれか一つの画面で通貨ペアをユーロドルに変更した時点で全ての画面が同様の時間足の組合せでドル円からユーロドルへと表示通貨が入れ替わります。また部分的にAとC、AとB、BとCなど同期機能をオンしてある組合せで、表示通貨を一致させることも可能です。

⑬ 別画面呼出し

マスター画面以外に別のチャート画面を追加して呼出したい時にクリックします。別画面は大きさのレイアウトが自由自在です。呼出し機能はマスター画面にだけ存在し、マスター画面を閉じると関連する全ての別チャート画面は連動して閉じるようになっています。



〈写真8〉フォーチュン社取引システムと複数チャート、他社有料ツールを組み合わせた活用例
取引システムの縮小／拡大機能を駆使するなど、より自在なレイアウトをお楽しみください。

（注意）

- * PCのスペックが充分ではない場合、取引システムとプロチャートを併用したり別チャート画面を表示し過ぎるとフリーズを起こすなど、作動不良を起こす原因になる可能性があります。著しい動作の低下が観測された場合は取引システムなどのリスクが掛かるソフトとの併用をお止めいただく事をお勧め致します。
- * 詳細の機能は、インターネットの状態が悪い場合やPCの状態やスペックが充分ではない場合、全てを表現できない場合が予想されます、ご了承ください。
- * 当チャートは常時研究、開発を重ねており、ご連絡無く機能の仕様、配列などは随時変更される可能性があります、ご了承ください。

その他、ご不明な点やお問い合わせは下記までご遠慮なくお問い合わせください。